

# 同心

DOHSIN

2009 14号

クリニックだより

発行者

医療法人 いしぐろクリニック

金沢市雀4丁目515番地

TEL (076) 243-2500

編集責任者

石黒 修三

同心の由来

病いを持つひと、癒すひと。同じ心でいたいものとの願いからつけました。

## 「人間ドック」も

## できるよになりました

日本人が最も嫌う病気は、「認知症」と「脳卒中」に「がん」です。が、その精密検査と聞いただけで身がすくむ思いがします。まして、大きな病院では、なかなか検査の順番が回ってこない。長い間待たされて、不安ばかり大きくなります。ならば、クリニックでも、大病院と同じ精密検査ができるようにしたい。いつでも検査ができて、早く患者さんの不安を取り除いてあげたい。私が長年、考えてきたことです。

### 5、6%の患者さんの脳に 重大な病気が

認知症や脳卒中の早期発見には自信があります。最新式のオープン型MR装置を使った脳の精密検査は、導入以来この約1年で2000人以上の新しい患者さんに利用されています。来院された

その日に検査をして、約5、6%の患者さんに重大な病気が見つかりました。

がんについては、正直に言ってくれただけで手づかず。頭の病気が治ったが、患者さんはがんで亡く



なったなどという話を聞いてはどれほど悔しい思いをしたことか。それが、今年からは、胃や腸の消化器がんや乳がん、肺がんなどの精密検査もできるようになりました。

た。副院長の伊藤先生のおかげで、クリニックでは脳ドックだけでなく人間ドックもできるようになったのです。

### 最先端の内視鏡装置が

昨年の11月から始めた胃や大腸の内視鏡の検査については、先日開かれた「健語会」のセミナーで紹介されました。詳しくは、この「同心」の伊藤先生の記事をお読み下さい。実は、この医師の私がびっくりするほど凄い最先端の内視鏡装置が使われているのです。癌などの病果がスイッチ操作一つで誰にも一目瞭然です。まるで、マジックを見ているようなもの。セミナーの会場では、その写真にわっと歓声が上がりました。

さて、クリニックにどんな立派な器械があっても、患者さんを第一に思う「こころ」がなければ宝の持ち腐れです。私たち、スタッフ一同、初心に帰って頑張ります。

(院長)

## 健康セミナー

11月18日、金沢国際ホテルで、健語会（健康を語る会）主催の健康セミナー及び懇親会が開かれました。今回は、院長による「脳ドックでわかること」、副院長による「最新式内視鏡診断システム」というテーマで講演がありました。最新の情報が盛りだくさんで、皆さん興味深く耳を傾けておられ、時には「わー」とか「おー」という驚きの声が上がったりしてあつという間の1時間でした。

次いで開かれた懇親会も、総数160名以上の参加者となり大盛況でした。山田会長のご挨拶に始まり、フラダンス、じゃんけんゲームなどが続きました。食べきれないほどのご馳走に飲みものもあり、皆さん大満足のご様子でした。

じゃんけんゲームで脳ドック券

や人間ドック券の当たった方は、早速のご利用ありがとうございます。また、講演を聞かれて早々に脳の検査を受けたり、内視鏡の検査を受けにいられた方々がおられ、スタッフ一同大いにやりがいを感じました。

今後セミナーを予定しますので、ご家族、ご友人、ご近所の方々お誘いのうえ、お気軽にご参加いただければと存じます。

（スタッフ一同）

### 電子カルテになりました

時代の流れにより、当院でも1月から、電子カルテ始動となりました。パソコンの苦手なスタッフにとっては、頭の痛い話ですが、始まったらやるしかありません。

初めは不慣れで、ご迷惑をかけるかと思いますが、電子カルテになったことで、待ち時間の短縮、データ管理が確実になることを願

い、頑張ります。私たちがパソコンに夢中になっていたら、「こっちを見て！」と声をかけてください。

（スタッフ一同）

### 診察について

診察にいられたら、まず看護師のほうで、今日は何を診てもらいたくて来たのか、いつも来ている患者さんには、変わったことがなかったのか、など確認をします。症状により、今日は院長、副院長のどちらに診てもらったほうがよいのかも判断しますので、お知らせください。直接先生に言いにくいこともどんどん言ってください。

（看護師）

### 内視鏡検査について

昨年11月より当院でも消化器内視鏡検査ができるようになりました。検査の説明にも検査当日も看護師が付き添って、検査がスムーズ

ズに出来るように、少しでも苦痛のないように、不安のないように、と日々努めています。検査をしてみようかな、でも……と思っっている方も一度ご相談ください。

（看護師）

### 予約制について

診察の混雑を避けるために、予約をとっています。もちろん、初めての方、久しぶりの方、調子の悪いときはいつでも診察できます。予約は、あくまでも目安です。時間通りにいかないこともあり、ですのでご了承願います。土曜日は、平日仕事で休めない人の診察が多く、混み合います。時間の融通のつく方は、空いている曜日、時間帯を選んでいただけるとありがたいです。なお、診察の際、保険証はもちろんのこと、予約表も一緒に受付へ出してください。

（受付）

## 最新式内視鏡診断システム

いしぐろクリニック 副院長 伊藤 博

当院は最新式ハイビジョン内視鏡システムを導入し、消化管検査・がん検診を始めました。

### 特殊光観察技術搭載 ハイビジョン内視鏡

「ハイビジョン技術」が内視鏡観察に導入されて以来、飛躍的に鮮明な画像が得られるようになりました。最近では、従来の光では観察できなかった小さながんをより観察しやすくするため、「特殊光」が開発されました。その中で狭帯域光観察(Narrow Band Imaging: NBI)は、粘膜内の血管をより鮮明にするものです。がんの増殖には、血管からの栄養を必要とするため、がんの近くには、多くの血管が集まります。NBIでは、毛細血管の集まりが鮮明に表示され、通常光による観察では見えなかったがんの早期発見にとっても有

用です。またこれまでは、血管や粘膜の詳細な観察のために色素による染色を行っていましたが、NBIでは色素染色に似た強調画像を得ることが簡単にできます。NBIは光学的な画像強調技術であるため、色素散布の手間も要りません。ボタンひとつで、いつでもNBIに切替えられ、高いコントラストの画像を観察できます。



### 極細内視鏡

内視鏡が口から挿入されることに抵抗感を持つ人もいらっしゃると思います。当院では、少ない負担で内視鏡検査を受けられるように、鼻からも口からも挿入できる極細内視鏡も導入しました。極細内視鏡の外径は約5mmであり、鉛筆よりも細い内視鏡なので、患者さんの状態にあわせてどちらからでもスムーズな挿入ができます。経鼻内視鏡検査には、「苦痛が少ない・吐き気が少ない・検査中も会話できる」というメリットがあります。しかし、経鼻内視鏡は他の内視鏡と比較すると画質がやや劣り、行える処置も限られ、患者さんによっては、鼻からの挿入が難しい場合もあります。

### 硬度可変式スコープと 内視鏡挿入形状観測装置

大腸内視鏡検査では、内視鏡の硬さを手で調節できる可変機能や、磁気を利用し内視鏡の挿入状

態を確認しながら検査を行えるような内視鏡挿入形状観測装置を導入しました。硬度可変式スコープを使用することで、腸管の湾曲や形状に合わせて硬さを可変しながら、大腸の深部まで短時間で観察します。内視鏡挿入形状観測装置は内視鏡の位置検出に、テレビよりも微弱な磁界を利用し、リアルタイムで3次元的に挿入形状を表示します。このため今までのように術者や患者さんのX線の被曝が無くなるばかりでなく、安全で苦痛が少ない検査が可能となりました。また、前処置のために内服する下剤の量や味が苦痛な方には、錠剤型経口腸管洗腸剤も用意しました。

近年、がんは医療技術の進歩により、早期発見・早期治療することで、治る病気になってきており、内視鏡検査はがんの早期発見に有効な検査方法のひとつです。がん検診をご希望の方や症状がある方は、遠慮無くクリニックまでご相談下さい。


**脳を元気にする**

**英語教室**

英語を学びながら、楽しく脳を活性化しませんか？

当院では、第2、第4木曜日の午後1時より、「脳を元気にする英語教室」を好評開講中です!! 「英語なんて……」という方でも大丈夫。どこかで聞いたことのある単語やフレーズを使うだけで、頭にはいい体操です。ゲームや、簡単な会話を中心に、楽しく英語に触れていきましょう。

年齢やレベルに関係なく、どこでもご参加ください。

参加費 1回1000円

時間 午後1時からの50分間  
その他の曜日のレッスンは、高尾台教室で行っています。

連絡090-9443-0349

(石黒たまき)

**画像の電子化システム**

平成19年6月からIPACSという画像診断システムを導入し、これまでフィルムで画像を管理していましたがフィルムを無くしてコンピュータで保存管理することになりました。患者さんは検査(レントゲン写真・CTスキャン・MR検査……等)が済むとコンピュータのオンラインで転送された大きな画像で医師から画面を見ながら説明を受けることができます。放射線技師は現在2名います。私たちは、より短時間でより良質な画像を医師に提供できるように、日々研究に専念しています。医用画像のスペシャリストとして、地域社会や患者さんに貢献していけることを誇りに思います。

(レントゲン)

**「鍼って痛いのか？」**

リハビリ部門では温熱、牽引、レーザー療法他に鍼療法を行っています。鍼というと痛いというイメージがありますが決してそうではありません。

直径0・16ミリの細い鍼を使いますので少しチクチクする程度で頑固に痛いことはないのです。治療後に患者さんに「痛かったですか?」と聞くと「そんなに痛くなかった。」と答えられる方がほとんどで、「気持ちよかったです。」と言われる方もいます。治療効果も高く筋肉の緊張や痛みなどに効果があります。効果はすぐに現れます。今後とも、患者さんの気持ちになつて少しでも楽になられるようにがんばっていきます。宜しくお願いたします。

(リハビリ)

**クリニックのホームページ**

いしくろクリニックでは平成19年4月から、ホームページを公開しています。これから益々内容豊富にして皆さんに新鮮な情報をお知らせして行きたいと思っています。お楽しみにご覧ください。URLは <http://www.ishiguro-cl.com> です。「いしくろクリニック」と検索されれば、すぐに表示されます。お気軽にどうぞ!

(魚山)

**編集後記**

伊藤先生が内視鏡の検査中は、一般の診察は院長がします。内視鏡の検査は増えて欲しい、となると、院長が大変になりそうです……。ハムレットの心境。電子カルテのメリットってたくさんあります。頑張りました。そしてこの頃、操作にも大分慣れてきましたが、その反面。どうして簡単な漢字まで忘れてしまうのでしょうか。一度、脳ドックを受けなくっちゃ。

とてもユニークな「英語教室」。皆さん、すつこく楽しそう。ところで、たまき先生は院長の娘さんですが、完全なバイリンガル。頭の中身を見てみたい。